

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長●ほっぺ!! コラム

市長●佐竹敬久



「おはよう秋田市長です」収録(1月20日)

新しい時代へ 試練と恵み

今年のお正月は気温も高く、市街地では雪は見られず、このまま春になるのではと思うような天候でした。

しかし、一月中旬になってしっかりと寒波が訪れ、一面の雪景色、久々の全市一斉の除雪となりました。大豪雪は歓迎できないものの、秋田にとって適度な降雪は必要です。人間の生存や収穫にとって不可欠な水資源という恵みの源だからです。

もし雪が決定的に生活の障害物になるのであれば、地球上の多くの人は雪のない所にだけ居住していたはず。熱帯地方の酷暑も同じで、とても住みたくなきような暑すぎる気候も、逆に多雨という形で水資源となり、広大な大地に緑を繁らせます。

人間が地球上で唯一、文明という思考と行動による賜(たまひ)を保有して生存し続けているのは、恵みとともに、その逆の試練もあるからです。恵みだけであれば適応能力の弱い生物として、わずかな環境変化などで絶滅しているはずですし、試練だけであれば、そもそも今の人間の形には進化していません。



寒い冬の間に降り積もった雪はやがて栄養たっぷりの川となり、緑の恵みをもたらします(河辺・伏伸の滝)

今、アメリカ発の百年に一度ともいふべき未曾有(みぞう)の不況が瞬(またた)く間に地球を覆い尽くし、活況(おごり)を謳歌(うた)してきた経済社会は大混乱です。

世界各国で、企業も国も自治体も躍起(えつき)になって不況対策に取り組んでいます。悪くなったら良くなるように力を尽くすことは当然のことです。

確かに、常に景気が良くて、何でも手に入る豊かな生活、楽な生活を送れることに越したことはありません。

ん。しかし、そのような恵みだけの状態が続くことは、とんでもない結末につながるような気がします。

欲望にブレーキが効かなくなった弱肉強食社会、資源の枯渇、地球環境の悪化など、いずれも人類にとって極めて大きな試練です。

大不況は、影響を受ける個々人にとっては大変なことですが、社会全体として見た場合には、大きなサイクルで天から試練を課せられたということができます。

雪と農作物の収穫が試練と恵みの一年ごとのサイクルだとすると、いづれ大きなサイクルの中で恵みという好景気も訪れるはず。

しかし、試練の認識なしには訪れが遅いでしょう。如何にして秩序ある経済社会を再生させるのか、限りある地球の資源を大切にしながら合うのか、危機的な環境悪化を食い止めるのかなど、世界的な試練を乗り越える努力こそ、次の恵みへの入り口になるような気がします。

目先の対策も必要です。しかし近未来への大きな視野も不可欠です。

家族・地域の 絆づくり行動計画に 対する意見を募集!

第11次秋田市総合計画の最重要課題である「家族・地域の絆づくり」の取り組みの指針となる計画案です。この計画をより良いものとするため、市民のみなさんの意見を募集します。いただいたご意見は、住所、氏名などの個人情報を除き、インターネットなどで公表する予定です。なお、個別の回答はしません。

募集期間 2月16日(月)から27日(金)まで

**資料
閲覧場所**

企画調整課、市民相談室、土崎・新屋支所、
河辺・雄和市民センター、市ホームページ
<http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/mn/>

**提出
方法**

意見、住所、氏名、電話番号を書いて、市役所2階の企画調整課へお持ちになるか、郵送、ファクス、Eメールでお送りください。
〒010-8560 秋田市役所企画調整課
ファクス(866)2417
Eメール ro-plmn@city.akita.akita.jp



人とのつながり、大切にしたいですね



家族・地域の 絆づくり行動計画

豊かで安らぎに満ちた生涯を送るための心のよりどころであり、いじめや家庭崩壊などの問題解決の糸口となる、家族や地域、人の絆づくりを進めるための計画です。



問い合わせ 企画調整課 ☎(866)2033

秋田市文化団体連盟章

秋田市文化団体連盟章は、市の芸術・文化活動の推進に功績があったかたに贈られます。平成20年度の受章者は次のかたがたです。

秋田市文化団体連盟 ☎(866)4026



華道 ● 志村幸子さん(志村幸月) 82歳・八橋
昭和22年、松生派に入門。同師範会会長、いけばな作家協会監事として、後進の指導や華道の振興発展に尽力しています。



書道 ● 藤谷正治郎さん(藤谷薫水) 82歳・将軍野
昭和58年、秋田市書道会に入会。カルチャースクールの講師として地域文化の向上発展や後進の指導育成に尽力しています。



大衆芸能 ● 川邊喜美代さん(川邊祥君) 75歳・広面
昭和53年、秋田市民踊舞踊会創立に参画。秋田市芸術祭などの公演、新秋田音頭継承事業、日赤奉仕団の慰問などに参加協力しています。



特別章

茶道 ● 千秋茶会実行委員会

昭和54年から千秋公園で野点茶会を開催し、30年続けています。全流派が一同に茶会をするという団結力で茶道の普及に努めています。



音楽 ● 川口洋一郎さん 60歳・桜

秋田市文化団体連盟主催の創作オペラ「ねぶり流し物語」を成功に導き、国体などの行事で男声合唱団の音楽監督として功績を残しました。



箏曲 ● 櫻田春美さん(桜田香春) 59歳・寺内

秋田県三曲連盟理事として、秋田市芸術祭、国民文化祭に出演。香華会副会長として後進の指導育成、箏曲の普及に尽力しています。



洋舞 ● 鎌田久美子さん 59歳・土崎

昭和48年に初舞台を踏み、ロシア、韓国、アメリカなどと交流を深めながら、総合芸術的舞台を創り、国際文化交流の普及に努めています。